

高山という地域が持つ、本質的な価値・魅力を発見・再認識し海外の成功事例のリサーチを元に発信すべき具体的な内容として提示し
今後こうありたい、あるべき姿を定義していく。

飛騨高山観光ビジョン

●飛騨高山観光ビジョンで規定した内容を元に旅行スタイルの原案を作成

- ・「市民の日常」をコアバリューとした「住んでよし、訪れてよし」の持続可能な地域づくりと高付加価値な国際観光都市を目指す。
- ・「自然」「文化」「環境」を3つの柱とし、サステナブルツーリズムの素材として磨き上げる。

TakayamaStyle

●市民生活と観光振興の調和を図るための施策の具体化と実行

A.旅行スタイルの原案

海外の観光地の成功事例を参照し、今後10年を見越した継続性のあるタイトルの開発

(長期視点で対応するもの)

B.方針及び具体案

現在の観光産業や地域が抱える課題を解決し、目指すビジョンを達成していくための施策
中期単位 (1-3年)で啓蒙や情報発信を行う際の指針であり、認知される標語となるもの

(短中期視点で対応するもの)

①マナー啓発看板の制作 (2024年度事業で制作)

②バス車内で再生するマナー啓発動画の製作 (2024年度事業で制作)

③次年度以降の周知方法とデザイン案 (2024年度事業で制作)